



人と、地域と、未来をむすぶ

十六銀行

十六アジアレポート 2024 年 3 月号

JUROKU ASIA REPORT MARCH 2024

2024 年 3 月 1 日 発行 十六銀行 ソリューション営業部 海外サポート室

目 次

1. タイ: 「中国 EV メーカー 相次ぎ新型 EV 投入 生産開始に向け攻勢」

バンコク駐在員事務所 松岡修

2. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. タイ:「中国 EV メーカー

相次ぎ新型 EV 投入 生産開始に向け攻勢」

バンコク駐在員事務所 松岡修

タイの自動車展示・販売会「第 40 回タイ国際モーターエキスポ 2023」が 2023 年 11 月 30 日から開催されました。自動車メーカー 40 社、バイクメーカー 23 社が出展。タイ政府による EV シフトに向けた各種政策が打ち出される中、中国 EV メーカーによる積極的な新型 EV の投入が続いており、注目度が高まっています。

■ 展示会場では中国 EV メーカーの積極的な攻勢が目立つ

タイの首都バンコク近郊で東南アジア最大級の自動車展示・販売会「第 40 回タイ国際モーターエキスポ 2023」が開催されました【写真 1】。今回は期間中に 5 万 3,248 台を販売し、前年比 45% 増と前年に続き成約台数が増加しました。その中でも、中国 EV メーカーの積極的な攻勢が目立ち、期間中の販売台数の内、1 位はトヨタ自動車 7,245 台、2 位はホンダ 6,149 台と日本勢が確保したものの、3 位～7 位は全て中国 EV メーカーという結果となりました。

中でも、今回のモーターエキスポで最大の展示面積となった BYD（比亞迪）が販売台数 3 位（5,455 台）となりました【写真 2】。中国最大手 EV メーカーである BYD は、2022 年 11 月に小型 SUV の EV「ATT03」にてタイ市場に参入。その後、小型車「ドルフィン」やセダン「シール」を販売しており、参入から 1



【写真1】大勢の人々が来場していた。



【写真2】エキスポ内EV販売台数1位のBYD。

年で累計納車台数は 3 万台を突破し、タイ自動車市場に占めるシェアは 6.5% に達しています。

■ 中国EV大手のAION（広州汽車グループ）は大きく躍進



【写真3】大きく躍進したAION。

販売台数 4 位となった中国 EV 大手の AION 【写真 3】は、2023 年半ばにタイ工場の新設に伴う大規模な投資を発表し、2024 年 7 月に生産を開始する予定で、年間 5 万台以上の生産計画を打ち出しています。現在、タイの EV 普及に向けた優遇措置を利用して、輸入 EV を先行して販売しており、少なくとも 2024 年中に 2 モデルを投入する方針で来場者の注目を集めていました。

■ 日本メーカー、HVを中心に巻き返しへ

タイ EV 市場で積極的な攻勢を強める中国 EV メーカーに対して、日本メーカーは新型 HV で対抗しています。しかしながら、タイ国トヨタ自動車が集計しているタイの新車販売台数によると、2019～22 年通年のシェアはそれぞれ 85%を誇っていましたが、23 年 1～9 月の実績では 79%にまで減少しました。2023 年 1～10 月に登録された EV は 5 万 7,623 台で、登録台数全体では 1 割ほどに過ぎないとはいえ、このうち 82%を中国メーカーが占め、テスラやドイツなどの欧米メーカーが 17%を占めており、日本メーカーの EV シェアは、1%に満たない状況となっています。かかる中、日本メーカーは変化する市場にあって自社の技術とモデルを訴求してタイ市場で巻き返しをはかろうとしています。

今回のモーターエキスポにおいても販売台数 1 位を堅持したトヨタ自動車は、新興国向けの新型ピックアップトラック「ハイラックスチャンプ」を発表【写真 4】。また、ピックアップトラック「ハイラックス REVO」の EV 版について、タイ工場の既存ラインにて少量生産を開始しており、初の EV ピックアップトラックの実証実験を開始する計画です。販売台数 2 位の本田は自社のハイブリットシステム「e:HEV」を搭載したモデルを前面に押し出したセダン「アコード」やスポーツ SUV「CR-V」といったロングセラーモデルの新型を展示していました。



【写真4】トヨタ自動車の新型ピックアップトラック。

■ 今後のEV市場競争は激化する見込み

今年は中国メーカーによるタイでの EV 生産開始が予定されています。最大手の BYD は 2024 年 6 月（年間生産台数 15 万台）、AION は 24 年 7 月（同 5 万台）、GWM（長城汽車）は 24 年 1～3 月（同 2 万台）など、多くの中国メーカーが EV の本格的な生産をタイで開始する計画となっています。今後は相次いで新型 EV が投入されることで、EV の市場競争は激化する見込みです。タイの EV 乗用車市場で 50%以上のシェアを持つ BYD は「今後は補助金が減るほか、中国メーカーだけでなく日本メーカーなどの EV 進出が増えるので、競争が一層激しくなる」と指摘しています。

■ 終わりに

近年、タイの自動車展示・販売会ではガソリン車から EV へ急速に移行しています。今後は東南アジア最大の生産拠点として EV 化への移行をリードする可能性があり、東南アジア EV 市場の主導権争いが激化すると思われます。タイ EV 市場をめぐり、各メーカーの今後の方針が注目度を増していくでしょう。

当事務所では、岐阜県や愛知県などの自動車メーカーの EV シフトなどの情報を収集しており、ジェトロや商工会議所との連携をはかることで、販路拡大に向けた支援策を模索しています。今後も地元企業の皆さまの海外販路開拓支援を続けることで地域社会に貢献し、地域の皆さまとともに、新しい未来を創造していきたいと思ひます。

2. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位:1人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
1月29日	20.75249	1月30日	20.66543	1月31日	20.69451	2月1日	20.59138	2月2日	20.55541
2月5日	20.80516	2月6日	20.79564	2月7日	20.72797	2月8日	20.74345	2月9日	20.87639
2月12日	-	2月13日	-	2月14日	-	2月15日	-	2月16日	-
2月19日	21.02077	2月20日	21.03890	2月21日	21.01414	2月22日	21.07970	2月23日	21.09660



上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。

そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

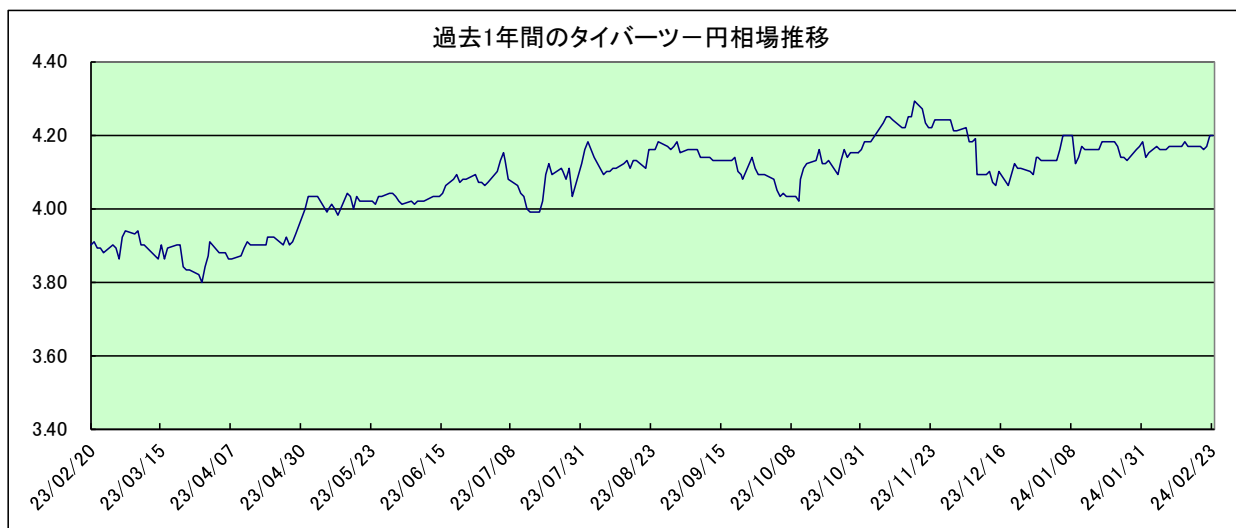
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
1月29日	148.25	1月30日	147.38	1月31日	147.55	2月1日	146.85	2月2日	146.49
2月5日	148.76	2月6日	148.68	2月7日	147.88	2月8日	148.15	2月9日	149.53
2月12日	-	2月13日	149.39	2月14日	150.68	2月15日	150.49	2月16日	150.26
2月19日	150.03	2月20日	150.38	2月21日	150.16	2月22日	150.55	2月23日	-



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1バーツ当たりの日本円)

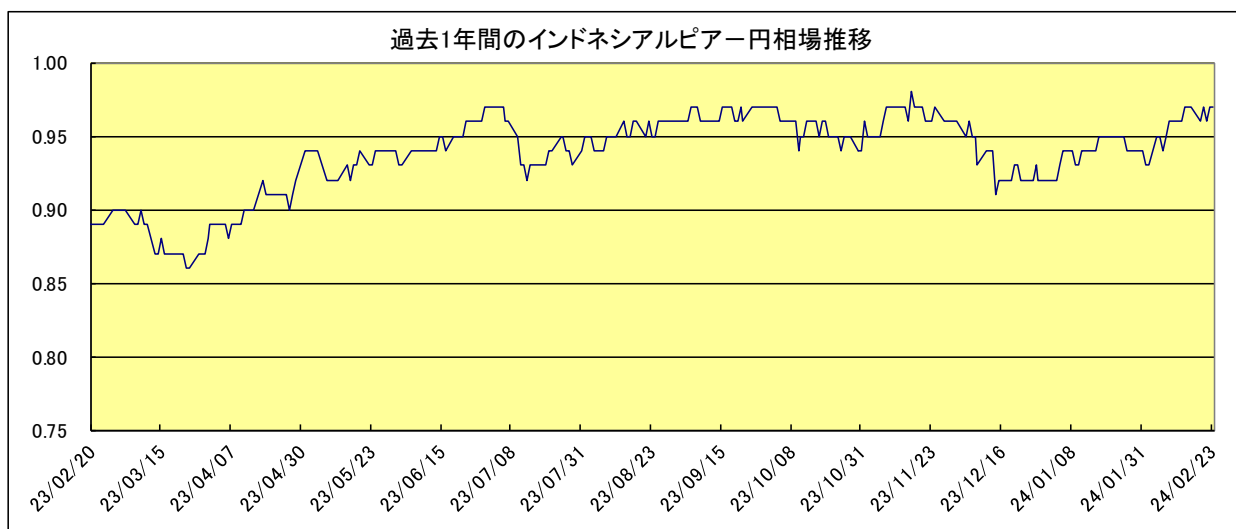
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
1月29日	4.1600	1月30日	4.1700	1月31日	4.1800	2月1日	4.1400	2月2日	4.1500
2月5日	4.1700	2月6日	4.1600	2月7日	4.1600	2月8日	4.1600	2月9日	4.1700
2月12日	-	2月13日	4.1700	2月14日	4.1800	2月15日	4.1700	2月16日	4.1700
2月19日	4.1700	2月20日	4.1600	2月21日	4.1700	2月22日	4.2000	2月23日	-



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

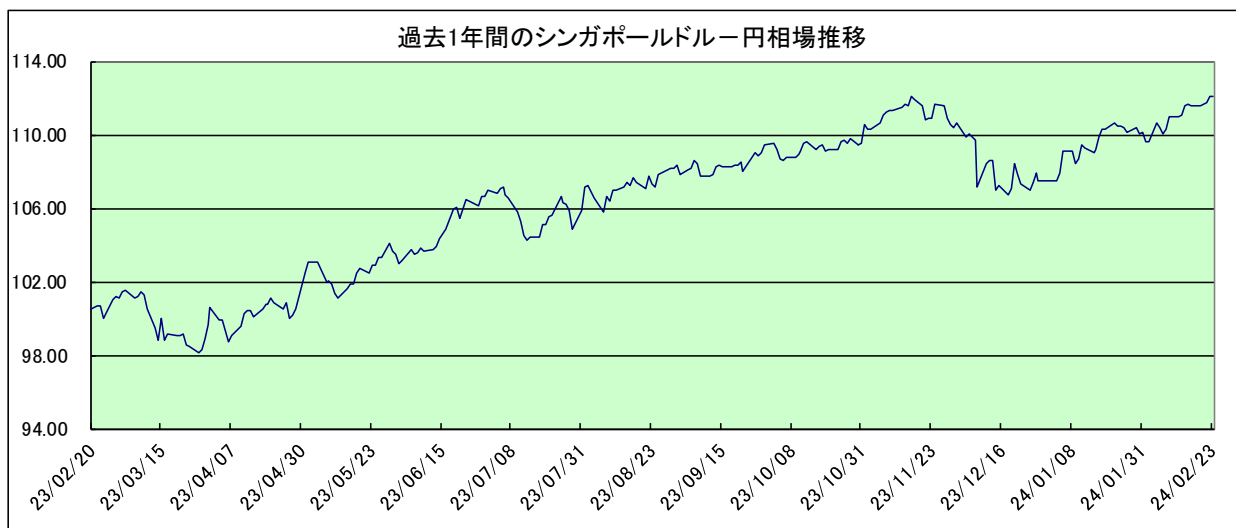
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
1月29日	0.9400	1月30日	0.9400	1月31日	0.9400	2月1日	0.9300	2月2日	0.9300
2月5日	0.9500	2月6日	0.9500	2月7日	0.9400	2月8日	0.9500	2月9日	0.9600
2月12日	-	2月13日	0.9600	2月14日	0.9700	2月15日	0.9700	2月16日	0.9700
2月19日	0.9600	2月20日	0.9700	2月21日	0.9600	2月22日	0.9700	2月23日	-



(5) シンガポールドル＝円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
1月29日	110.4000	1月30日	110.0800	1月31日	110.1700	2月1日	109.6300	2月2日	109.5800
2月5日	110.6400	2月6日	110.4000	2月7日	110.0500	2月8日	110.3300	2月9日	110.9500
2月12日	-	2月13日	111.0500	2月14日	111.5600	2月15日	111.6500	2月16日	111.5900
2月19日	111.5400	2月20日	111.6700	2月21日	111.7300	2月22日	112.0900	2月23日	-



(6) ベトナムドン＝円為替相場(参考値)

(単位: 1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
1月29日	6.0200	1月30日	6.0000	1月31日	6.0400	2月1日	6.0000	2月2日	5.9900
2月5日	6.1000	2月6日	6.0900	2月7日	6.0600	2月8日	6.0600	2月9日	6.1100
2月12日	-	2月13日	6.1100	2月14日	6.1600	2月15日	6.1500	2月16日	6.1300
2月19日	6.1100	2月20日	6.1200	2月21日	6.1100	2月22日	6.1300	2月23日	-

